2.14.2020

富士通研究所）松倉

DS-TF（第5回）

1. 前回メモ

総務省さん発行の議事録を参照ください。

・原文の誤記等については、修正案をRECに反映する

・レガシーデバイスについては、WoT非対応デバイスの意味なので、訳注を記載する

・分担：7章松倉、8.1~8.4水島さん、8.5~8.8川口さん、9章松倉、10章東村さん

1. 訳語

Implementation→これまで実現と訳しているが、訳しにくい箇所もあるため、インプリメンテーションに統一してはどうか？文書全体で70回以上出現。

Semantic annotation→セマンティックなアノテーション

retrieve=取得、update=更新、observe=観察、push=通知、readable=読み出し可能、writable~書き込み可能、readonly=読み出し専用、read-write=読み書き可能

1. レビュー方針（前回資料と同じ）

原文はCR1(5月版)なので、今後PRとの差分は反映してください。3章までは松倉のほうで確認済み。

Editor’s noteについては、適宜提案して頂ければ文書に反映します。内容はレビュー時に確認する。

Thing Description文書(翻訳版)は、いつ頃出来上がるか確認要。

「ですます」調で統一する。作業は最後にまとめて行う。

「てにをは」レベルは、TTC事務局にお願いする。

指摘のうち、「意味は同じだが表現が異なる」は極力訳文を活かしたい。指摘者によって表現はぶれるので、一貫性がなくなるため。

1. 6章をレビュー
2. その他

次回2月21日(金)9:30～11:00

以上